

# 学校の安全管理について

## ～ヒューマンファクターズの視点から～



首藤 由紀

# 簡単な自己紹介

- 専門: **心理学**・**人間工学**など社会科学・人文科学系の学問領域を背景に...
  - 事故・災害に関わる人間の心理と行動（災害心理学）
  - 事故・災害をもたらす人のエラーなど、人的要因（ヒューマンファクターズ）
- 現在: 民間コンサルタントとして防災・減災／安全対策のうち、特に**ソフト対策**の調査研究・推進支援
- 学校安全との関わり:
  - 大川小学校事故検証
  - 教職員のための学校安全e-ラーニング教材作成
  - 学校の「危機管理マニュアル」等の評価・見直しガイドライン作成

# 第2次学校安全の推進に関する計画

## Ⅲ 学校安全を推進するための方策

### 1. 学校安全に関する組織的取組の推進

- (1) 学校における人的体制の整備
- (2) 学校安全計画及び危機管理マニュアルの策定・検証の徹底
- (3) 学校安全に関する教職員の研修及び教員養成の充実

### 2. 安全に関する教育の充実方策

- (1) 「カリキュラム・マネジメント」の確立を通じた系統的・体系的な安全教育の推進
- (2) 優れた取組の普及を通じた指導の改善・充実
- (3) 現代的課題への対応

### 3. 学校の施設及び設備の整備充実

(1) 学校施設の安全性の確保のための整備

- (2) 学校における非常時の安全に関わる設備の整備充実

### 4. 学校安全に関するPDCAサイクルの確立を通じた事故等の防止

- (1) 学校における安全点検
- (2) 学校管理下に置いて発生した事故等の検証と再発防止等

### 5. 家庭、地域、関係機関等との連携・協働による学校安全の推進

- (1) 家庭、地域との連携・共同の推進
- (2) 関係機関との連携による安全対策の推進

# 「危機管理マニュアル」のあり方

## ■ 既往マニュアル等の課題（例）

- 前提となる現状や地域性、災害想定等の記載がない
- 想定すべき危機事象が網羅されていない
- 新規事項を末尾に追加、全体整理がなされていない
- 訓練要綱に示される内容とマニュアルが乖離
- 管理職・担当者不在、停電、夜間・休日などの想定が不足
- 避難場所、避難方法・経路について、事故災害種別・発生状況別の複数パターンの検討・記載が不足
- 事後対応に関する記載が不足 ……等々

令和2年度文部科学省委託「学校防災の取組の質向上・実効性向上の方策等についての調査研究」より

評価・見直しガイドラインの活用に加えて

見直し・改善の  
仕組みづくりが必要

〈例えば…〉

- ✓ 学校評価の評価項目に位置づけ
- ✓ PTA役員会との協議の義務づけ
- ✓ 学校同士のピアレビュー導入

大川小学校事故検証委員会「提言5」より

# 学校安全計画と危機管理マニュアル

## ■ 学校安全計画（学校保健安全法第27条）

施設・設備の安全点検、児童生徒等に対する安全に関する指導、職員の研修その他学校における安全に関する事項についての計画

## ■ 危険等発生時対処要領（同法第29条）

危険等発生時において当該学校の職員がとるべき措置の具体的内容及び手順を定めた対処要領

■ 学校安全計画  
＝「年間計画」

中・長期的な  
計画は不要？

■ 危険等発生時対処要領  
≡「危機管理マニュアル」  
（事前・事後対策も包含）

法の求めと不一致？

概念・定義の再整理が必要では？

# 教員養成における学校安全

■ 教職課程コアカリキュラムに「学校安全」を位置付け



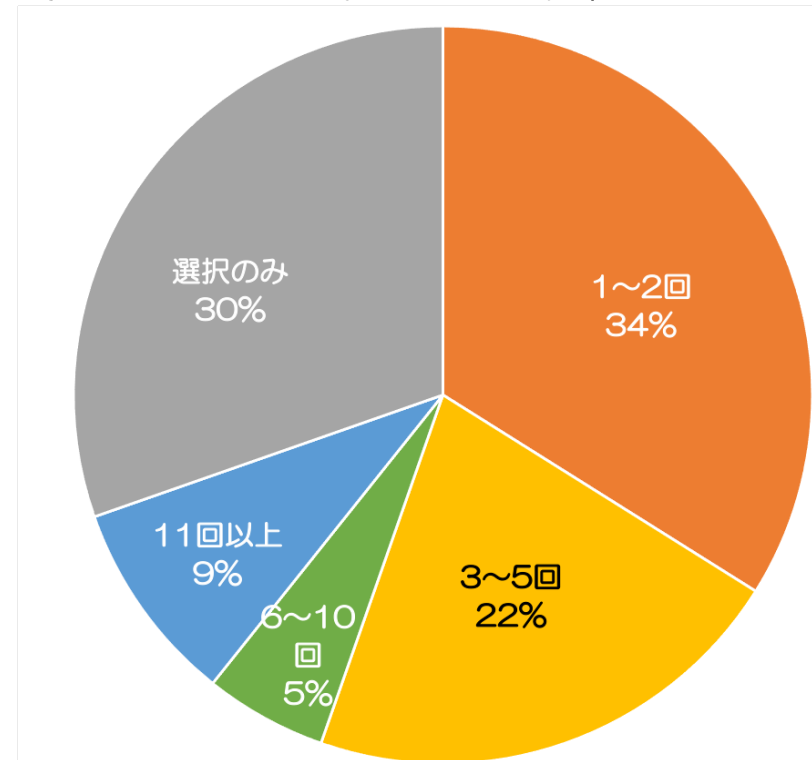
■ 平成31年度より、教員養成の中で「学校安全」を学ぶことが必須に

✓ 多岐にわたる内容を数時間で教えられる？

✓ 教えられる教員がいる？

大学間の情報交換・  
連携があると良いのでは？

■ 教員養成カリキュラムにみる学校安全関連の授業回数



日本教育大学協会加盟56校の教職課程  
再課程認定申請資料に基づく  
学校安全関連の必修科目授業回数

令和元年度文部科学省委託「学校安全に関する教職員の資質・能力の向上のための調査研究事業」報告書をもとに作成

# 学校における人的体制

## ■ 第2次計画より

- 学校安全の中核となる教職員の役割明確化・研修充実
- 教職員全体で学校安全に取り組む組織体制づくり
- 安全管理など専門知識に基づく対応が必要な事項等に関する支援体制整備

## ■ 中核となる教職員

わずかな研修で  
養成可能？

## ■ 専門家の支援体制

支援体制は確立？  
支援はボランティア？

学校安全を確保するためには「地域住民の持つ平均的な知識・経験よりも遥かに高いレベルの知識・経験」が必要

専門職としての学校安全担当職を配置しては？



# その他、気になること

## ■ 安全点検

- 各学校で適切に実施できる環境が整っているか？

- 点検項目・点検方法・判断基準等の標準化
- 施設・設備点検と行動等の点検の明確な区分
- 点検担当者の教育・訓練のあり方検討

## ■ 事故調査・検証

- 「事故対応指針」を実現するためには、下記も必要では？

- 事故調査マニュアルの整備
- 事故調査体制づくり（教育・訓練、緊急派遣体制）

## ■ 避難所開設・運営への関わり

- 教職員は児童生徒等の安全確保、教育継続・再開に専念すべき

- 教職員に依存しない避難所開設・運営体制



# 安全確保に関するキーワード

## ■ 組織の安全文化

- 安全を重要なものと位置づける価値観の浸透
- 報告する文化、公正な文化、柔軟な文化、学習する文化

## ■ レジリエンス（強靭さ）

- セーフティII（変化の中で成功し続ける能力）  
→ 事故から学ぶだけでなく、事故のないところから学ぶ
- ノンテクニカルスキル  
（状況認識、コミュニケーション、リーダーシップ等）
- 心理的安全性（率直に意見を言える状況）
- 柔軟な現場力（マニュアルを主体的に守る、マニュアルにないが安全上必要な対応を自発的にとる）